

園児の歌、おかげ踊りで活気

駅前・アクティ城陽商店街

リズムミカルな音楽響き渡る

城陽光の回廊 初のサークルフェスタ

今月5日に開幕した市民参加と商店街の活性化を目指した夏のイベント・第4回城陽光の回廊は13日、オープニング以外では初めてJR城陽駅前商店街を歩行者天国にし、地元の園児や伝統のおかげ踊り保存会による「サークルフェスタ」を開き、延べ500人の人々にぎわった。



【伝統のおかげ踊りを披露する保存会のメンバー】

JR城陽駅近くにあるにアクティ城陽商店街(平山龍男理事長、22店舗、駅前商店街(宇田公彦会長、22店舗)を活気づかせ、市民の交流の場にと3年前から開かれているこのイベントも年々、盛り上がりを見せている。

今年には集中豪雨により、玉池があふれるアクシデントに見舞われたものの、夜間になると京都・花灯路推進協議会から借り受けた2



【手話を交えて歌声を響かせる芽生え幼稚園児】

00基の京都花灯路が池の周辺や両商店街内を彩り、同事業推進協議会の平山会長は「年々、お客さんは多くなっている」と手ごたえを感じている。両商店街内には芽生え幼稚園の園児が描いた「親子の絆」をテーマにした絵画76点を6枚のボードに展示されているほか、七夕シーズンにちなんで設置された笹飾りには白鳥幼稚園とくぬぎ・しいの木・鴻ノ巣の各保育園の園児たちが願い事を書き入れた短冊も取り付けられている。

13日は午前10時からオープニングイベント以外では初めて駅前商店街を歩行者天国にして「サークルフェスタ」と名づけた催しを実施。まず、商店街のすぐそばにある白鳥幼稚園(岡村倫子園長)の年長児49人による鼓隊が登場し、リズムミカルな演奏を展開。さらに、市文化協会加盟の「梅若朝寿恵乃会(宇野信子会長)の社中5人による三味線の伴奏に乗せて、おかげ踊り保存会(西村妙子会長)のメンバー6人が伝統の踊りを披露した。

最後は芽生え幼稚園(西岡京子園長)の年長児の有志25人が手話を

交えて「みんなともだち」を熱唱。タンバリンやシンバル、太鼓による合奏も披露し、集まった保護者らの注目を引きつけた。

なお、25日(金)午後6時からアクティ城陽商店街の夏祭りとしてアップしたフィナーレイベントが開催される。